

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院(管理型)



労働者健康福祉機構 新潟労災病院

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

## 地域医療連携のさらなる推進を目指して

院長 酒井邦夫

当院の地域医療連携への取り組みの経緯を振り返ってみますと、平成12年2月の病診連携システム推進委員会の発足まで遡ることができます。当初は脳神経外科が中心になってFAXによる新患予約システムが稼働しておりましたが、平成14年11月以降はこのシステムが全科で稼働することになり、紹介元医療機関並びに患者さんから好評を博しております。

平成15年2月には、地域医療連携の窓口専任職員を配置し、地域医療連携室(旧称：病診連携室)が正式に発足いたしました。平成15年6月には上越医師会の開業医の先生方と開放病床に関する懇談会を開催し、同年9月12日上越医師会との間で開放病床の利用に関する協定書を締結しております。開放病床に関しては、平成16年4月より仮稼働し、2ヶ月間の稼働実績をもとに同年6月1日付けで開放型病院共同指導料が受理され、正式稼働することになりました。登録医の人数も、開放病床発足時点では31名でしたが、平成17年7月35名、平成18年10月38名と徐々に増加し、現在42名となっております。



地域医療連携活動の一環として、平成16年6月からは、院内で実施する研修会のうちオープンにした方がよいと思われるものを合同研修会と名付け、地域の医療従事者の皆さまにも案内を差し上げることにいたしました。以来、合同研修会は毎年平均5～6回開催しております。そして平成18年度からは、合同研修会のうち年1回は、当院の医師等数名によるミニレクチャー形式とし、これに意見交換会も組み合わせ、直江津駅前のホテルを会場に開催しております。



地域の先生方と当院職員との間で自由な意見交換ができる場として、参加者の皆さまより好評をいただいております。本紙でも別途ご案内のとおり、今年度も第28回目となる合同研修会を来る10月9日(木)午後6時半よりホテルハイマートにて開催いたしますので、ご参加いただければ幸いです。

当院が地域医療連携に力を注いできた大きな理由は、第3次医療法改正（平成9年4月）により、国の医療政策が従来の総合病院を中心とした「施設完結型医療」から地域医療連携を中心とした「地域完結型医療」へと大きく方向転換したことにあります。第3次医療法改正の目玉として制度化された「地域医療支援病院」の取得を目指して、当院も努力を重ねてまいりましたが、幸い医師会並びに地域の医療機関の皆さまのご支援により平成19年度実績で認定要件を満たすことができ、本年5月14日付けで新潟県より地域医療支援病院の名称使用が承認されました。新潟県内では、すでに認定されていた済生会新潟第二病院、新潟市民病院に、今回認定された県立新発田病院と当院が加わり、合計4病院となりました。

地域医療支援病院の認定要件は、かかりつけ医からの紹介患者さんに適切な医療を提供すること、救急医療を提供する能力を有すること、地域の医療従事者の資質向上のための機能を有すること、地域の医師等の病院施設（医療機器、入院病床）の利用をはかること、などとなっております。

当院は、救急医療・専門的医療を必要とする患者さんに対する急性期入院医療に重点を置きながら、上記の地域医療支援病院の趣旨に沿って、地域医療連携のさらなる推進を目指して努力してまいりますので、引き続きご指導並びにご支援賜りますようよろしくお願いいたします。



## 放射線治療について

放射線治療科副部長 中野敬太



がん（悪性腫瘍）治療の三本柱は手術、化学療法（抗がん剤）、放射線治療です。

当院は本年二月に地域がん診療連携拠点病院に指定され、九月より放射線治療も本格稼働開始致しました。今回は放射線治療について、というテーマでお話したいと思います。

放射線治療は、その名の通り放射線を使っての治療ですが、治療に使う放射線には幾つかの種類があります。

X線（胸部単純X線写真やCT検査で使われるX線より高エネルギー）や電子線、 $\alpha$ 線、粒子線（陽子線や炭素イオン線など）などがあります。（当院での放射線治療は、X線と電子線を用いた放射線治療です。）

放射線治療では、放射線をがん病巣に照射することにより、がん細胞を死滅させる効果を狙います。放射線はがん細胞だけではなく正常細胞にも同じ作用をしますが、正常細胞はがん細胞より障害が軽いことを利用して放射線治療を行います。

放射線を繰り返し照射することにより、がん細胞に損傷を与え、がん細胞を死に至らしめたり、増殖能（細胞分裂をする能力）を失わせ、細胞を死滅させます。また、正常細胞は損傷を受けますが（副作用として出現）ある程度、自己修復能力があるため、時間の経過とともに回復してきます。

放射線感受性（放射線の効きやすさ）はがんの種類によって異なります。例えば、同じ肺がんでも、小細胞肺癌と非小細胞肺癌では全く異なります。また、正常細胞も放射線感受性に違いがあり、放射線による副作用が出現しやすい臓器があります。なので、放射線の効果を最大限発揮させながら、出来るだけ正常細胞に副作用が出現しないような治療が必要となってきます。

そのため、当院では、呼吸同期撮影が可能な4列 MDCT（治療計画用の CT）一台、最新の治療計画作成装置（CMS 社、Xio）治療装置一台（Varian 社、CLINAC 21-EX）を導入し九月より放射線治療を行っています。一般的に治療は、一日一回で10～30回行いますが、疾患の種類や患者さまの状態、照射する体積などで異なってきますので、患者さま一人一人にあった最適な回数を選択させて頂いています。

以上、放射線治療について簡単にお話しさせて頂きました。



## 医師交代のお知らせ

転入

(10/1) 第4 整形外科部長 菊地 廉  
第3 外科部長 井上 譲  
歯科臨床研修医 塙 健志

転出

(9/30) 第4 整形外科部長 白旗 正幸  
眼科医師 渡部 晃久  
歯科臨床研修医 坂上 直子

プロフィールについては、次号でお知らせします。

## 図書ボランティア募集！

当院では患者図書室での対応や資料の整理などを手伝ってくださるボランティアの方を募集しています。

図書の仕事が未経験の方も大歓迎です。ご応募お待ちしております。



連絡先 新潟労災病院 総務課  
電話 025-543-3123  
FAX 025-544-5210  
E-mail info@niirou.jp  
担当 川村

## 第28回 新潟労災病院 合同研修会のご案内

日 時：平成20年 10月 9日(木) 18:30～20:00

会 場： ホテルハイマート

演 題：「日常診療に役立つ最近の話題( )」

座長 小池 宏 副院長

1. ICT (Infection Control Team) の活動について  
感染管理認定看護師 上ノ山智恵
2. 放射線治療の適応について  
放射線治療科副部長 中野 敬太
3. 特定健診・特定保健指導への対応  
健康診断部長 島矢 早苗
4. 緩和ケアチームの活動について  
外科部長 伊達 和俊



\* 合同研修会に引き続き同会場にて意見交換会を開催いたしますので、併せてご出席願います。

主催：新潟労災病院

\*\*\*\*\*

## 第4回股関節教室のご案内

変形性股関節症患者様に、より快適な生活を送っていただくために、第4回股関節教室を開催いたします。参加をお待ちしております。

開催日時	平成20年11月14日(金曜日) 15時00分～16時00分
講義内容	岡部整形外科部長のお話 看護師による日常生活指導
場 所	新潟労災病院 3階会議室

当日、3階会議室までお越しく下さい。

お問い合わせ先

電話 025-543-3123 (内線1550)

新潟労災病院 リハビリテーション科 (佐藤)



## 画像診断を通して病診連携を考えております

かなざわ内科クリニック 院長 金澤 貴

### 【当クリニックの紹介】

当クリニックが山麓線沿いに開院して早4年目となりました。当クリニックの特色を一言で言えば1.5テスラーのMRIを完備しているということでしょうか。わたしはもともと放射線科で癌治療や画像診断を専門に従事し、その後上越総合病院では内科全般を担当してきました。患者さんとコミュニケーションをとる時間を少しでも長くしたいという思いと、自分の理想とする画像診断を追究したいという思いから4年前に開業しました。当クリニックでは、かかりつけ医として外来診療、在宅診療、産業医活動、学校医活動などを行っています。また画像診断専門医として他の医療機関からMRI検査の依頼を受けたり、他施設での画像を診断したり、上越地区の画像診断レベル向上のための活動などを行っています。



### 【私の思い】

私は病気のことと色々な相談を受けるプライマリーケアでこそ画像診断が威力を発揮すると思っております。やみくもに写真を撮っても駄目です。きちんと目的を持って画像を撮ること、早く正しい診断に辿りつく方法で画像診断することが重要だと考えています。それには画像の撮り方から画像の判読までの広い知識が要求されます。私は病診連携や診診連携の中で画像診断専門医の知識が少しでもお役に立てれば、上越地区の地域医療に貢献できるのではないかと考えております。

### 【労災病院との連携】

労災病院の病診連携の姿勢は素晴らしいと思います。開業していると手術が必要な患者さん、入院が必要な患者さん、専門医の診断が必要な患者さんに出会います。そのような時にご多忙の中でも紹介患者さんをいつも快く受け入れて頂けるので、非常に感謝しております。私もできる限り当クリニックで正しい診断をすることによって、病院での治療が必要なのか否か、どの科の先生にお願いしたら一番いいのかを考えているつもりです。今後とも宜しくお願い致します。



### 【最後に】

がん診療連携拠点病院の指定や放射線治療の開始などから、がん治療の中心的存在になることを期待しております。ますます検査などが込み合うと思いますが、MRIが込んでいる際には、当院にMRI検査をご依頼していただくことも可能です。少しでもお役に立てれば幸いですと思っております。

## 私たちの職場 5階西病棟

5階西病棟は、泌尿器科・整形外科 46床の混合病棟です。泌尿器科は、天皇陛下が罹患されたことで一躍関心が高まった前立腺癌、膀胱癌などの悪性腫瘍や尿路結石症、さらに前立腺肥大症・神経因性膀胱など加齢に伴う排尿障害の患者さんが多く入院されます。手術・化学療法・ホルモン療法に加えて8月から放射線療法も開始され、治療の選択枝が広がりました。整形外科は、上肢・手指の労災事故や交通外傷術後の患者さんが殆どで、重度のダメージを受け腱縫合・神経再接着手術を受けた患者さんも多く入院されます。

手術件数は、月 40～50 件、ESWL 月平均 20 件、月平均入院患者数 62.5 人、平均在院日数 14～17 日と院内でも動きが早い病棟に常に上がっています。おもちゃ箱を引っ繰り返した様なアップテンポな日常業務を、22名の看護師・看護助手・医師・病棟薬剤師の絶妙なチームワークと、平均年齢 35.5 歳を感じさせないパワフルな看護力、且つ軽快なフットワークで「明るく・前向き・安全に」をモットーに乗り切っています。



♪☆♪☆♪☆♪☆

### 散 歩 道

♪☆♪☆♪☆♪☆

#### 《我がスローライフ》

久比岐自転車道（新潟県道 542 号線上越系魚川自転車道線）は、1969 年に移設された旧北陸本線の跡地が整備され自転車道として転用された、上越市虫生岩戸～系魚川市押上間、全長約 33 km の一般県道である。同区間は風光明媚な地でもあるため、たまに自転車での全道走破や、途中駅間に限り歩行散策等を行うことがある。沿道には史跡、寺院や古くからの家並み等があり、風景はもとより、車道からは決して見ることができない、垣間見る自然や伝統そして生活感に思わず心に安らぎを覚える。

当地も北陸新幹線の開業を間近に控え、交通の高速化が更に進む一方、同道が今も残され整備されているのは、私の他にも当初から多くの方々の共感、愛着や要望があつてのことか。勿論単なる懐古趣味にとらわれず、沿道住民の方々の生活事情を慮る必要がある。しかしたまには文明利器から離れて“スローライフ”を試み、マイペースで歩むことで、心身の健康はもとより、違った視点から物事を見て捉えることができ、新たな発見、理解、進歩につながるのではないかと考える。

( M . S )

# 10月 人間ドック(日帰り)等の予約状況

平成20年9月24日現在

項目	日にち																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特 定 健 診	×	×				-	×										×			-
人間ドック(日帰り)	×	×	×			-	×			×							×			-
女性専用外来	-	-	-			-	-	-	-	-				-	-	-	-			-
睡眠時無呼吸外来	-	-	-			×	-	-	-	-				-	-	-	-			-
禁 煙 外 来	-	-	-			-	-	-	-	-				-	-	-	-			-

項目	日にち										
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
特 定 健 診	×	×	×	×			-				
人間ドック(日帰り)	×	×	×	×			-				
女性専用外来		-	-	-			-	-	-	-	-
睡眠時無呼吸外来	-	-	-	-			-	-	-	-	-
禁 煙 外 来	-	-	-	-			-	-	-	-	-

予約可能 × 空き無し

\* お申込み・お問い合わせ 空き状況等をご確認の上お申し込みください。  
 医事課医事係 小松 025-543-3123 内線 1233

\* ドック・オプションのご案内

項目	内 容	金額(税込み)
基本検査	診察	30,000円
	身体計測	
	血液学的検査	
	血液生化学検査	
	肝炎検査	
	糖尿病検査	
	腫瘍マーカー	
	尿検査	
	便検査	
	胸部X線検査	
	腹部超音波検査	
	生理検査	
	眼科検査	
耳鼻咽喉科検査		
胃癌検診	胃カメラ(経鼻内視鏡、経口内視鏡の選択が可能) 胃透視	15,000円 10,000円
肺癌検診	CT	9,000円
	喀痰細胞診	3,500円
子宮癌検診	子宮頸部細胞診・内診(第1・3・5の火曜日のみ)	3,500円
乳癌検診	マンモグラフィ・触診	6,000円
前立腺癌検診	PSA測定	1,800円
骨粗鬆症検診	骨密度測定(エックス線検査による)	3,600円